

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ユキモトゼミ
神奈川大学	経営学部	行本ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) トリップルン	フリガナ) タカダ アユミ	4	無
とりっぷるん	高田 歩未		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

レーザーポインター

研究テーマ (発表タイトル)

Re:visit Japan ~訪日外国人受け入れ態勢の整備~

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

東京オリンピックを目前に控えた今、訪日外国人旅行者はますます増加している。一方で、日本人の国内旅行者数は停滞している。このことから、日本の観光業のさらなる発展のためには訪日外国人旅行者の存在が必要不可欠といえる。さらに私たちは、訪日外国人旅行者の中でもリピーターに着目した。リピーターのニーズに応えることで、2回目、3回目と継続的なリピーターの獲得に繋がると考えたからだ。訪日外国人旅行者のニーズは様々で、国籍や年代ごとに多様なニーズが存在する。その中でも、訪日外国人旅行者のリピーターのニーズが体験型観光にシフトしているというデータから、体験型観光に着目した。体験型観光の訪日外国人旅行者の受け入れ態勢が整っていないため、そこを解決するための提案を私たちは考えた。体験型観光の訪日外国人旅行者の受け入れ態勢が整い、リピーターのニーズを満たすことができれば更なる継続的なリピーターの獲得に繋がる。最終的には、日本の観光業の更なる発展に繋がることを狙いとしている。

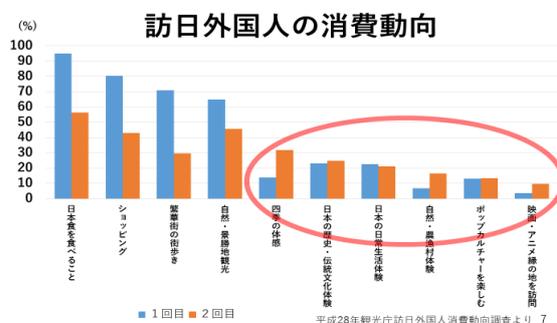
2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

訪日外国人旅行客数は年々増加している。(図1) そのうち、2回以上来日している外国人旅行客は62%と半数以上を占めている。また、訪日外国人旅行客の消費動向について調査したところ、1回目の来日ではショッピングや日本食を食べることが主な目的であるが、次回したいこととして、四季の体感、ポップカルチャーの体験などといった体験型観光にニーズがシフトしているということがわかった。(図2) そこで体験型観光の現状を知るため、株式会社ティーゲート社長様にお話を伺い、体験型観光の課題を見つけることができた。

(図1)



(図2)



3. 研究テーマの課題

体験型観光の問題点として、大きく2点あげられる。1点目は、言語問題である。外国人向けにツアーを企画しても、予約の際の電話やメールの対応、現地でも通訳問題など外国人を受け入れる態勢が整っていない。2点目は、体験型観光の認知不足である。訪日外国人旅行客は個人旅行が多く、情報収集もネットを使うところが多い。その際、自分の母国語で記載されたサイトを用いることがほとんどで、日本のサイトは外国人の目にとりにくい。ニーズに応えられる体験が存在しても、外国人に気づいてもらえないという現状がある。以上のことから、外国人を受け入れる側の態勢が整っていないといえる。

4. 課題解決策 (新たなビジネスモデル・理論など)

上記の体験型観光の言語問題と認知不足、2つの問題の解決策として、私たちは留学生のツアーガイドへの起用を提案する。具体的には、企業・団体などといった受け入れ側と留学生をマッチングする場を提供し、マッチングができれば留学生がその企業でアルバイトという形でツアーガイドをし、外国人の受け入れ態勢の強化に繋げようというものである。マッチングをする場として web サイトを立ち上げ、両者から登録してもらう仕組みである。マッチングが成功しガイドとしての採用が決まったら、留学生には研修といった意味合いも込めて実際にツアーに参加してもらう。ツアー内容を把握すると同時にお客様視点でも体験を楽しんでもらい、自分の利用する SNS アカウントにおいて、お客様視点での感想を素直に書いてもらう。SNS で投稿して拡散することにより、留学生の知人など周囲への認知度向上を狙い、さらにそれが拡大していけばより幅広い認知が得られる。

また留学生をターゲットとした理由としては、母国語でガイドができる上に、日本人ガイドと違い外国人目線に立ってガイドをすることが期待できるからだ。この提案により、体験型観光の言語問題と認知不足という2つの問題が解決できると考える。

5. 研究・活動内容 (アンケート調査、商品開発など)

体験型観光の現状を知るために、体験型観光に詳しい旅行会社の方にお話を伺い、そこから体験型観光の問題点を見つけることができた。更に、体験型観光を知ったうえで実際に自分たちが体験し、そこでの学びを研究に活かすことができた。また、私たちの提案の有意性について検証するため、実際に企業の方にインタビューを行った結果、企画が面白い、関心があるなどといったコメントをいただくことができた。同様に留学生にもアンケートを行った結果、約7割の留学生から参加したいという回答をもらうことができた。

6. 結果や今後の取り組み

留学生をツアーガイドに起用することで、言語問題は母国の言語で通訳ができるため解決に繋がる。また、体験型観光の認知不足の問題は留学生が実際に体験に参加し、感想を SNS で母国の人に向けて情報を発信することで認知度の向上に繋がる。

今後の活動としては、まずは身近なところから成功モデルを作っていこうと考えている。具体的には、神奈川大学の留学生に、神奈川県企業・団体が企画した体験型ツアーで実際にガイドを経験してもらいたい。その後、私たちの提案・サイトを企業の方に提案し、留学生ガイドが神奈川から関東へ、関東から全国へと広まってほしいと考えている。

7. 参考文献

・国土交通省 観光庁

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

・日本政府観光局 (JNTO)

<https://www.jnto.go.jp/jpn/>

・旅の発見 (近畿日本ツーリストグループ)

<http://tabihatsu.jp>

・Air bnb

<https://www.airbnb.jp>

・JTB 総合研究所

<https://www.tourism.jp>

・WIX (ホームページ作成サイト)

<https://ja.wix.com>

・訪日ラボ

<https://honichi.com/>

・日本語能力試験 (JLPT)

<http://www.jlpt.jp>

・派遣集団 夢屋

<http://www.tour-com.jp/guide/index.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください